

一步先の、新どさんこを  
新どさんこ研究所  
山岸所長が訪れる



vol.  
10

しんどさんこばなし

# 南極料理人、次の使命は 北海道の食を「守り隊」

## 懐かしい味を発掘し、北海道を食で豊かに

平均気温マイナス57℃という過酷な環境の中で働く、観測隊の体力を支え続けた南極料理人の西村さん。「ものが無い、あっても凍る」という苦境を、自身のアイデアと知恵で乗り切り、時には仲間の科学者の力を応用してしのできたという。現在は、その時の経験と、北海道の食に秘められた可能性を自身のキッチンから発信している。

西村さんの食の起源は、温かくも豪快な利尻島出身の祖母の手料理だ。それは懐かしさを伴いながら、消えていった各地の郷土料理を復活させたいという思いにつながり、生産者や企業を巻き込んで新たな食の魅力を発信するという活動に進化したり、ピンチをチャンスに変えるパワーで、これからも私たちを楽しませてくれるだろう。



新どさんこ #10 西村 淳さん

留萌市生まれ。海上保安庁在籍中に南極地域観測隊に参加し調理を担当。この時の奇想天外なエピソードをまとめた『面白南極料理人』が出版されると、2009年に作品が映画化。「南極料理人」の愛称で一躍時の人に。同年、妻のみゆきさんを代表に「オーロラキッチン」を設立。現在文筆家や料理家として活動中

## ♡ 心のソウルフード 我が家めし募集!

小さい頃食べていた、懐かしいメニュー。  
忙しいお母さんがちゃちゃっと作ってくれたアレンジ料理。  
人が集まった時に必ず登場していた、我が家のオリジナルメニュー。  
また、OLやビジネスマンが1人暮らし・単身赴任時代に編み出した簡単レシピ。  
そんな、心の食卓の上で輝いている、我が家めしをお寄せください。文章でも、イラストでも、写真でもOK!



## 「ゆめぴりか」、「まめなマカロン」プレゼント!

お寄せくださった方の中から抽選で、3名に「ゆめぴりか」5kg、10名に「まめなマカロン(5個セット)」をプレゼント!  
また、抽選から外れた方全員に「HO別冊」\*をプレゼントします。  
※HO別冊「円山・琴似」「夫人のススキノ」「肉食女子 甘党男子」のいずれかを記載願います  
※応募メニューは、西村さんに見ていただいて「これは面白い!」となったら、連絡させてもらう場合があります。

応募方法 ● はがき…P182の「読者プレゼントコーナー」参照のこと  
● インターネット…右記QRコードから画像の添付で簡単応募



外食よりも、家で食べる  
食事の方が好きだ  
北海道民は41%  
(50歳以上)  
北海道民の食行動意識はこちら

<http://shindoken.com>

# 新ど研

新どさんこ研究所

### インタビュー

新どさんこ研究所 所長 2014年北海道博報堂入社。  
山岸 浩之 コミュニケーション戦略局長兼マーケティング部長として、  
Hiroyuki Yamagishi 北海道の様々なクライアントの戦略立案やリサーチを担当。

